

第3回 日田市環境審議会 議事要旨

日時：令和5年11月30日（木）10：00～12：00

場所：日田市役所別館3階大会議室

<出席者>

委員 14名（欠席 5名）

NO	該当号	所属	氏名	
1	1号 委員	日田市議会	高倉貴子	
2		日田市議会	松野勝美	
3	2号 委員	日田市立博物館協議会	奥森修二	欠
4		学識経験者	諫本信義	
5		日田市校長会	甲斐圭介	
6	3号 委員	国土交通省筑後川河川事務所 日田出張所	大島正一	欠
7		大分県西部保健所	本多祥宏	
8		大分県農林水産研究指導センター 林業研究部	亀井淳介	欠
9	4号 委員	日田市自治会連合会	橋本成人	
10		日田市金融協会	阿部修	
11		日田市女性団体連絡協議会	田邊徳子	
12		日田商工会議所 大分県建設業協会日田支部	河津龍治	
13		日田市商店街連合会	平川正路	欠
14		ひた市民環境会議	甲斐美德	
15		日田市民生活協同組合	後藤哲也	
16		一般社団法人日田青年会議所	清水勝	欠
17		水郷ひた再生委員会	諫本憲司	
18		TDK株式会社三隈川工場 (ISO取得事業所)	岩田昭雄	
19	ひた水環境ネットワークセンター	園田匠		

事務局 10名

NO	所属	氏名	役職等	
1	日田市役所 市民環境部 環境課	佐藤野里子	部長	
2	日田市役所 市民環境部 環境課	木村和心	課長	
3	日田市役所 市民環境部 環境課 企画推進係	長尾真琴	主幹（総括）	
4	日田市役所 市民環境部 環境課 企画推進係	石井洋二	主査	
5	日田市役所 市民環境部 環境課 企画推進係	梶原涼子	主事補	
6	日田市役所 市民環境部 環境課 水・環境係	江田政嗣	主幹（総括）	
7	日田市役所 市民環境部 環境課 生活環境係	野村健一	主幹（総括）	
8	日田市役所 市民環境部 新清掃センター建設室	吉松徹	室長	
9	国際航業株式会社 西日本地域マネジメントグループ	松浦琢	チーム長	
10	国際航業株式会社 西日本地域マネジメントグループ	松本美保	技師	

<内容>

1. 開会
2. 部長あいさつ
3. 議事

[審議事項]

- (1) 日田市地域再エネ導入計画（素案）について
- (2) 日田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）について

○質疑・意見交換

- (A 委員) 素案を見る限り、日田市ならではの特徴が感じられない。上位計画である第3次日田市環境基本計画には木質バイオマスの推進と書かれているのに本計画にはバイオマスの導入目標の設定がない。
- ①住民は木質バイオマスに高い関心を持っている。各家庭へペレットストーブや木質バイオマスボイラーの導入を推進することを目標に追加してほしい。また、再エネ導入検討対象エネルギーに木質バイオマスの記述がないのは何故か。
 - ②小水力発電、農業用水路のポテンシャルが数字として示されていないが、知る方法はないか。
- (事務局) ①木質バイオマス事業について、民間企業が主体で行っているため、具体的な数字を出すのが難しい。木質バイオマスを除外しているわけではなく、導入は検討していきたいと考えている。導入に関しては燃料となる木材確保が課題である。
- ②小水力発電について、費用対効果を見越すと導入が困難な部分があり、具体的に数字を出して計画に載せるのは難しい。数字が出やすい太陽光発電から進めていきたいと考えている。農業用水路については、市全域で水路の面積を算出し、目標値を定めることはできる。
- (A 委員) ①再エネ導入計画 P89 「「転換・削減」の下段「省エネの促進」「省エネ型機器への転換促進」」の記述を「石油ボイラーから木質ボイラーに転換」という旨の内容に変更してほしい。市が主導して木質ボイラーに転換する取組を進めてもらいたい。
- ②森林を伐採した際に、どの程度の木材が発電に利用できるのか知りたい。
- (会長) ①再エネ導入計画 P50 にバイオマスについての注記があるが、もう少し具体的に書く必要がある。
- ②木の伐採量と発電に使用されている量が分かる資料は森林組合にあり、現在でも未利用材は発電に有効活用されている。森林の伐採に関しては、範囲や量のバランスが大切である。
- (事務局) 木質バイオマスについてはできる限り反映したいが、林業政策との関連があるため、詳細に書くことは難しいと思う。
- (B 委員) バイオマス工場のボイラーは20年程度しか使用できず、使用期限が来たら次の立地場所を探す必要がある。トラックが通る道路幅の確保やボイラーの騒音問題もあり、候補地探しは難航する。
- (C 委員) 市民が行う取組・施策について、環境基本計画と比較して追加された項目はどれか。また、これまでも取り組んでいたが、今後さらに取り組む必要がある項目はあるか。

- (事務局) 現時点で、環境基本計画の取組施策と比較していないので、計画の中で再整理したい。
- (C 委員) 2050年の地域脱炭素に向けて、現在、温暖化対策に取り組んでいない人や事業者にも取り組んでもらう必要がある。高い目標を示してみんなで取り組める項目があるといいと思う。
- (会長) 市民や事業者に向けた伝え方のアイデアを工夫してほしい。
- (D 委員) 社会教育課主催で、女性団体と市内の小学生でSDGs勉強会を実施する予定である。小学生の頃から環境問題に対して認識を持ってもらう必要がある。
- (A 委員) 概要版を作成し、家庭に配布する。取組の表に「今もやっている」「すぐに取り組める」といったチェック欄を追加し、家庭でチェックを入れる形にしたらどうか。
- (事務局) 概要版は作成する予定である。表にチェック欄を追加というご意見は反映させたい。
- (A 委員) 実行計画P64～69の具体的な取組について、以下を修正してほしい。
 - ・P64「再生可能エネルギー発電設備」を「再生可能エネルギー利用設備」に変更する
 - ・P66「デコ活」の意味が分からないと思うので、「説明ページ参照」の注記を入れる。
 - ・P66「海外からの飼料作物の依存度低減を図ります」は、分野を「生活」から「産業」に移行させ農業政策の項目として記述し、かわりに「…食品の地産地消・旬産旬消を進めます」と記述する
 - ・P67「近距離の移動に徒歩・自転車の利用」とあるが、遠距離の移動でも高速バスなど公共交通機関の利用を推進する。
 - ・P69に脱プラスチックを推進する取組を追加する。
- (会長) 子どもたちのSDGsへの関心はどうか。
- (E 委員) 学校でもSDGsの教育を進めているが、学校の学習だけでは限界があるので、市の協力も必要である。2050年までの目標なので、子どもたちの環境に対する意識を高める必要があると考えている。
- (会長) 子どもの頃に学習したかどうかで意識が違ってくる。学校と市が連携して教育を進めてほしい。
- (A 委員) 再エネ導入計画P48に「PPA」と唐突に出てくるので説明がほしい。
- (事務局) 巻末資料として用語集を作成する。
- (A 委員) 再エネ導入計画P90の市「再生可能エネルギーの推進」の市の内容の中に（「省エネルギーの推進」と同様に）「補助金や融資等の実施により導入を促進します」と記載する。
- (事務局) 補助金については、内容を検討して追加するか決めたい。
- (A 委員) ①再エネ導入計画P71の小水力発電の評価・課題に「農地法」とあるが農地法は関係ないのではないか。また、法令上の手続きが必要なのは小水力発電以外の発電設備も同様であるため、「送電線に関して電力会社と交渉が必要」という記述にしてはどうか。
②再エネ導入計画P77のペレットストーブの解説に「世界的に利用を推進した際に森林伐採が加速した」とあるが、実際は国産ペレットを利用するので、海外の問題を書く必要はないと思う。「地産地消として近場で製造されたペレットの購入を推奨する」という記述にしてはどうか。

(事務局)

③再エネ導入計画 P76 の地中熱利用について、「コストが高いため新規住宅を対象とする」とあるが、費用が高いと市民は導入できないため、公共施設を対象とすべきである。
修正を検討する。

[報告事項]

[その他]

4. 閉会